

研究協力のお願ひ

横浜市スポーツ医科学センターでは、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

ジュニアベースボールプログラム内でのトレーニングによるフォームへの影響

1. 研究の対象および研究対象期間

2023 年以降に横浜市スポーツ医科学センターで開催されたジュニアベースボールプログラムに参加し、全身の機能評価と投球動作撮影を受けた方

2. 研究目的・方法

肘・肩関節へのストレスが増大すると投球障害のリスクとなります。多くの研究で球速の増大に伴って肘・肩へのストレスが増大すると報告されています。球速が上がっても、できる限り肘・肩へのストレスの増大を抑えることが理想的ですが、球速増大と肘・肩へのストレス増大の抑制を両立できる投球動作が存在するか、それはどのような動作であるかについてはいまだ明らかになっていません。ジュニアベースボールプログラムで実施する投球動作評価・トレーニングの目的は、投球動作および全身機能に対する評価とそれに応じたトレーニングの実施によって、肘・肩へのストレスの増大を抑制しながら球速を増大することですが、実際にどのようなフォームの変化によって、球速や肘へのストレスが変わるかを調べます。

研究期間

令和6年4月から令和7年3月末日まで

なお、研究期間は必要に応じて年度ごとの研究申請をもって1年単位で延長する

3. 研究に用いる情報の種類

- ・撮影した投球動作の動画(角度測定、動作不良の評価)
- ・年齢、学年、性別、投球腕の左右、胸椎後湾角、肩水平内転可動域、片足バランス
- ・投球時に測定した球速、外反トルク

得られた情報は、解析を行う前に氏名などの個人情報を削除し、新たな符号(番号)を付

与し、個人が特定できないように匿名化します。匿名化されたデータは横浜市スポーツ医科学センターの研究担当者以外はアクセスできないように、パスワードロックのかかる情報漏洩対策を施した状態で管理します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

所属:横浜市スポーツ医科学センターリハビリテーション科

氏名:田中 大夢

住所:222-0036 神奈川県横浜市港北区小机町 3302-5 日産スタジアム内

電話番号:045-477-5050

研究責任者:鈴木仁人(横浜市スポーツ医科学センターリハビリテーション科)